

アルファガーデン 2月の見どころ

※その年の気候により開花時期はずれることがあります

【花木類】



①ワビスケ(コチョウワビスケ)

ワビスケはツバキの一系統であり、ヤブツバキとチャの交配種という説もあるが定かではない。大きな特徴は、雄蕊の機能が退化し、結実せず、花は半開。一般にワビスケというところ、このコチョウワビスケをさすが、このほか多くのワビスケ系の品種がある。
派手さがなく清楚な感じの花は茶花には最適で、千利休も好んで使ったといわれる。2月下旬ころから見ごろ。

②ヤブツバキの園芸品種

ヤブツバキは日本原産の植物で、世界中で観賞されるツバキの交配親になった原種。当校には園芸品種がいくつか植栽されている。上の写真は原種。下は早咲きの大輪一重の品種。原種は下のように平開しない。



3月頃になると数品種が見られる。



③ソシンロウバイ

1月頃から開花。花弁が蠟細工のようで香りがよい。普通のロウバイは芯の部分の褐色。



④マンサクの園芸品種(ハマメリス・インターメディア)

日本のマンサクと中国のシナマンサクの交配種群で、花がやや早く、色もバリエーションがある。



⑤カワヅザクラ

早咲きで美しいため近年人気の品種。オオシマザクラとカンヒザクラの自然交雑種といわれている。2月下旬ころから開花。



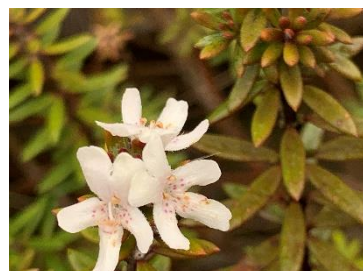
⑥シナミザクラ

中国原産のサクラの仲間。花後に実がなり食用にできる。いわゆるサクラんぼはセイヨウミザクラで、寒冷地向きであるがシナミザクラは暖地でも育つ。開花は2月下旬ころから。



⑦ウメ

古来に中国から渡来した花木。当校の個体は衰弱している。



⑧フリンジラベンダー

葉に歯のような刻みがあるのが特徴。



⑨ローズマリー

這性は早咲き。左は黄色の斑が入る品種で、花とのコントラストが美しい。

⑩ウエストリンギア

オーストラリアンローズマリーと呼ばれるが、葉に香りはない。長期間開花する。



⑪サルココッカ

ツゲ科の常緑低木。白い小さな花は香りがする。実と一緒に観賞できる。

⑫ハツユキカズラ

テイカカズラの品種。新芽が淡いピンクで美しい。

⑬ユリオプスデージー

南アフリカ原産の常緑亜低木。

⑭カルーナ・ブルガリス

ツツジ科の常緑小低木。葉色や花色のバリエーションが多くあり、冬期間特に発色が美しい。英名はヘザー。暑さに弱い。

【草花・球根類】



⑮ニホンスイセン

日本原産ではなく古い時代に中国から渡来した。地中海原産。



⑯クロッカス

早春の球根植物の代表格。紫、白、黄色などあり。



⑰ナルキッスス・カンタブリスク

スペイン原産の原種系で早咲き



⑱クリスマスローズ各種



⑲エロディウムペラルゴニフロラム

開花期は長く早春から初夏まで咲くが、高温多湿に弱い。



⑳イオノプシジウム

ポルトガル原産の一年草。こぼれ種で増える。



㉑ミヤコザサ

日本固有種。主に太平洋側の山野に多い。冬になると葉の縁が白く枯れて縁どりされるのが美しい。

【冬の花壇を彩る一年草】



㉒ストック各種



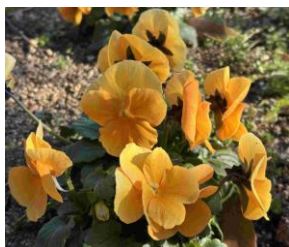
㉓スイートアリッサム



㉔ハボタン



㉕リナリア



㉖キンセンカ

